【大賞・最優秀賞(地域ネットワーク型キャリア教育部門)】

授業実施 企業・団体名	練馬区・練馬アニメーション協議会
プログラム名	練馬区「アニメ産業と教育の連携事業」
活動の内容 (概要)	本事業は、ジャパンアニメーション発祥の地、かつアニメ関連企業最大の集積地
	である練馬区の地場産業であるアニメ産業を活用し、子供達が地域産業の理解を
	深めるとともに、創作活動や体験学習を通じて健やかな成長を促すことを目的と
	している。区内アニメ関連企業からプロのアニメーター等が講師として関わり、
	優れた技術だけでなく制作にかける想いも伝えている。
	子供達が制作したアニメ作品は、学習発表会等のほか動画配信や区主催イベント
	での上映など、多くの発表の場があり、成果を広く区民や関係者と共有している。
	さらに、区とアニメ産業交流協定を締結しているフランス・アヌシー市の子供達
	と、アニメ作品を通じた交流も続けている。



石神井東小学校6年生に対して、地元企業である虫プロダクションOBの有原さんがアニメーションについて講義しているところ。ただアニメを制作するだけでなく、その原理や歴史を知ったうえで作業に入ることで、より質の高い作品を作ることができ、かつ地場産業であるアニメの理解にもつながっていく。



上記小学校で子供達が作ったアニメ 作品の上映会を行っているところ。作 品に対する想いや工夫したところな どを子供達がプレゼンした後、作品を 上映し、その他の子供達や講師から感 想や講評を受ける。アニメ企業や保護 者など多くの見学もあり、子供達の作 品に笑いや感嘆の声があがった。これ らの作品はフランス・アヌシー市の小 学校に届けられ、さらに返事が返って くるなど、国際交流にも広がっていっ た。

【最優秀賞(普及型キャリア教育部門)】

	24/2/3/ (2/42 + 1/2/ 3/133113/2
授業実施	
企業・団体名	シャープ株式会社
プログラム名	障がいのある子どもたちに向けた特別支援学校等への キ
	ャリア教育支援活動
活動の内容(概要)	当社では、社会貢献活動として創業者の福祉への思いを踏襲しながら、障がい者の社会参加支援に取組む中、障がいのある子供へのキャリア教育支援活動にも積極的に取組んでいる。具体的には2012年4月より、中・高等部の障がいのある生徒には特例子会社の場を活用し障がい者が働く職場の見学会、実習体験会や、障がいのある社員自らが全国の特別支援学校を講師として訪問する出前教育を実施し、就労への意欲増進に繋げている。 小学部の生徒には全国の聴覚支援学校への出前環境教育を通じ、環境啓発のみならず、職業(勤労観)の気付も促している。 これまで約2,300名の障がいのある子供へキャリア教育を実施し一定の効果・反響に繋がっている。



・中・高等向け出前キャリア 教育

シャープ特選工業の聴覚に 障がいを持つ社員が講師と なり、手話を用いて、自らの 経験を踏まえ、働くことにつ いて講義を行う様子。

講師:シャープ特選工業社員



・中・高等向け出前キャリア教育

実際に特例子会社で行う作業の一つである、補修用部品の梱包作業をグループで行う様子。

【最優秀賞(地域密着型キャリア教育部門)】

授業実施	
企業・団体名	株式会社ケミカル山本
プログラム名	わくわくケミカルクラブ
活動の内容(概要)	「わくわくケミカルクラブ」は、㈱ケミカル山本の山本正登社長の提唱により設
	立した化学実験クラブ。次代を担う子どもたちに「化学のおもしろさ」や「研究
	することの大切さ」を伝え、「未来のケミストを育てたい!」との山本社長の強
	い思いにより、2006年5月から活動を開始し、本年度で第6期生を迎えた。こ
	れまで地域の小学4~6年生の延220名が参加。㈱ケミカル山本では、企業の
	社会貢献活動の一環として、5月から翌年3月までの月1回、合計11回活動場
	所として自社施設の開放を行い、講師やスタッフとして毎回多数の社員が参加し
	ている。「わくわくケミカルクラブ」は、全国でも例の少ない「化学」をテーマ
	とした実験クラブである。



(説明)

第12 回 炎色反応ケミカルマジック「魔法の液体・・・フラスコの

中の液体に注目!何も入れないのに色が変わるよ!・・・なぜ?」

講師:㈱ケミカル山本 山本社長



(説明)

第3 回 酸化と還元 I「ビタミンCを調べよう」実験の様子

【優秀賞(普及型キャリア教育部門)】

授業実施 企業・団体名	花王株式会社
プログラム名	お家のおしごと
活動の内容(概要)	花王は次世代育成の企業理念を基に、子どもたちの「生きる力」の向上を願い、"全
	社活動"として、手洗いや家事をテーマにした出張授業、節水実践のための環境プ
	ログラム・中学家庭科教材の提供など、小学校1年生から中学校まで幅広く教育支
	援活動を実施しています。中でも、「お家のおしごと」は、家事をテーマとした生活
	カ育成プログラムで、小学校 1~2 年生を対象に生活科や道徳、キャリア教育のね
	らいを組み込んだ出張授業型で展開。低学年ということを踏まえ、"学びにつながる
	体験活動"を重視し、社員がチームで講師として参加しています。多くの学校から
	好評を頂き、12年度は全国の50校にのべ185人の社員が出向きます。



教員による事前授業の様子 教員が使用する布パネル、マグネットは、児童用ワークブック、シールと連動。 視覚に訴える教材や動きのあるワークなどの活動を重視しています。



花王社員による出張授業の様子 低学年の体験活動を中心に実施 するため、6名体制の社員で児 童一人一人にていねいな個別指 導をすることにこだわっていま す

【優秀賞(普及型キャリア教育部門)】

授業実施 企業・団体名	ソニー生命保険株式会社
プログラム名	「ライフプランニング授業」
活動の内容(概要)	2時限のグループワークを通じ、仮想家族のライフプランニングを体験し、自分の夢やありたい姿を考えることで、人生を計画的に考え、夢に向かって努力する大切さを学ぶ。6名程度のグループごとにワークを進め、1時限目は想定した家族の理想的なライフプラン(働き方、子供の誕生や進学、住宅、毎月の出費、趣味・旅行等)を考え、決定する。2時限目は描いたプランを当社のシミュレーションソフトを使って金銭面から分析し、プラン実現のポイントについて理解を深める。ライフプランナーは一方的にアドバイスせず、グループの考え方をくみ取りつつ進めるので、生徒自らが夢の実現に向け、自分の努力や工夫について具体的に気付く機会となる。



《グループワーク》

・1 枚の大きなライフプラン表を作成します。生徒たち全員で架空の家族の夢や、やりたいことを出しあったのち、決めたこと書き込んで、シールを貼り、夢をどんどん「見える化」していきます。



《授業の全体イメージ》

- ・メイン講師であるライフプランナーが壇上に立ち、授業の進め方の説明、全体運営、まとめを行う。
- ・シミュレーション結果の説明 では、生徒たちはいっそう真剣 なまなざしに。

【優秀賞(地域ネットワーク型キャリア教育部門)】

授業実施 企業・団体名	公益社団法人太田青年会議所
プログラム名	未来に向かって行動しよう〜自分たちの会社をつくろう!!〜
活動の内容(概要)	小学4~6年生19人が会社の発足、マーケティング、商品企画、プレゼンテーショ
	ン、製造、宣伝、販売までを手掛けました。指定したのは「洋菓子店とTシャツ屋の
	2社をつくること・販売日・会場だけ」。商品内容や価格設定、宣伝方法など、プロが
	助言はするものの、すべて「子ども社員」が話し合って決める形で進行しました。
	活動を通じてコミュニケーション力やチャレンジ精神、経済感覚を養成し、目標に向
	かって行動する素晴らしさについて身を以て知ってもらうことを目的としました。
	最初は大人しくて意見が言えなかった子もいれば、ケンカして涙を見せた子もいます
	が、全員が夢中になって取り組み、立派なチーム=会社へと成長しました



第3回マーケティングの様子。商 品企画に当たり、自分が好きなも のでなく、お客様に買ってもらえ る物を考えるために、街頭アンケートを実施。アンケート項目は 「社員」が考えた。勇気を出して 協力を呼びかけ、約100名の回 答を集め、次回のプレゼンに進む ことができた。



第9回店舗営業 (洋菓子店) の様子。レジの前には長蛇の客列が並ぶ、盛況ぶり。

「社員」たちは、我々大人の指導を待つことなく、来客状況に合わせて呼び込み方を自分たちで工夫して改善していくなど、我々が驚くほどの成長とチームプレーと見せてくれた。

【優秀賞(普及型キャリア教育部門)】

授業実施 企業・団体名	東京商工会議所
プログラム名	東京商工会議所総がかりでのキャリア教育支援活動の実践
活動の内容(概要)	教育・人材育成委員会活動によるキャリア教育の普及・推進
	社会総がかりでの教育再生に関する意見要望活動
	東商では、学校教育のあり方や産業人材の育成などについて、継続して調査
	研究を行い、教育再生に関する意見要望活動を行っている。今年度は、文部科学
	省中央教育審議会における第2期教育振興基本計画の策定について、初等・中等
	教育段階からの「ものづくり教育」の重要性や、社会を生き抜く力として人間関
	係において発揮される「公徳」としての「倫理・道徳」教育の新たなモデルを打
	ち立てる必要性を訴える等の意見書を提出した。



「プロサッカー選手」と練習する 中で技術の研鑚を行う「小学生」。 「ボールタッチ」や「ミニゲーム」 を行う中で、仲間との連帯感など を学びます



東京大学のキャンパスにて、先端 科学の研究者から直接講義を受 け、大学での講義を実感していま す

【優秀賞(地域密着型キャリア教育部門)】

授業実施 企業・団体名	愛媛県中小企業家同友会
プログラム名	地域の中小企業が持つ教育力を子どもたちへ 〜労働と職場の持つ教育力は子どもたち・企業・経営者を変える〜
活動の内容 (概要)	愛媛同友会は松山市教育委員会と連携して市立小学校 55 校、市立中学校 29 校
	の生徒を対象に、講演による授業及び職場体験学習を実施しています。学校の持
	つ総合的学習の時間を活用し、まず講演で経営者の生き様を伝えます。中小企業
	では、経営者が波乱万丈の人生の中でつかんだものが経営に生かされています。
	愛媛同友会には挫折を経た成功体験を経営に生かしている経営者がたくさんい
	ます。そして職場体験で授業に重ねて経営理念を伝え、子供たちの就職不安や課
	題を乗り越えて世の中を肯定的にとらえる生き方が大切だと思う子供たちを育
	てるとともに、地域とともに生きる中小企業経営者自身の育ちを促している。



6月30日、素鷺小学校にて、田中正志会員(義農味噌株式会社代表取締役/愛媛県中小企業家同友会・理事 伊予・松前支部長)によるキャリア教育に関する参観授業が開かれ、小学5年生の児童100人以上と保護者が参加しました。



7月9日(月)、東雲小学校にて 玉井和幸会員(パートナーシップ 経営塾 代表/愛媛県中小企業 家同友会・理事)による授業が開 かれました。

小学校5年生の総合的な学習の時間で、「将来の夢~思う通りの人生を生きるために~」というテーマでご講演いただきました。

【奨励賞(普及型キャリア教育部門)】

授業実施 企業・団体名	一般社団法人日本チャレンジ教育協会
プログラム名	『チャレンジカッププログラム』
活動の内容(概要)	本プログラムはチャレンジを通して「自ら課題、目標を見出し、それを実現に導く
	力」を育むことを狙いとしています。生徒は事前に自己分析や社会調査を実施し、
	その内容をもとに、最も必要だと考えるチャレンジを設定します。そして、実際の
	活動を通じて、PDCA や問題解決、仲間との関わりなどについて学んでいきます。
	こうした「実践」を通じて、社会人として必要な能力・態度を身につけていくこと
	が本プログラムの特徴です。チャレンジ終了後には、振り返りを行い、活動を通じ
	ての学びを発表にまとめます。特に素晴らしい活動をした生徒は審査を経て、全国
	大会(グランプリ決定戦)にて多くの観客の前でプレゼンテーションを行います。



ベトナムで学校に通えない子どもたちのために、幼稚園を作るというプロジェクトを始動させた生徒たち。

必要な資金を集めるために 毎日、街頭にたち幼稚園建設に必 要な資金を集めました。



チャレンジカッププログラムの 全国大会の様子。

大勢の観客と審査員を前に、自分 たちで考え、練習に練習を重ねた プレゼンテーションを行いまし た。

【奨励賞(普及型キャリア教育部門)】

授業実施	
企業・団体名	株式会社読売新聞東京本社
プログラム名	教育ルネサンス ことばの授業
活動の内容(概要)	新聞記者の仕事を見せ、子どもたちに体験してもらう形で「インタビューをしよ
	う」「記事を書こう」「見出しをつけよう」という3つの基本プログラムを行って
	いる。記者と、教師を目指す大学生スタッフが全国の学校を訪問し、チームティー
	チングで授業を進行する。記者が実演した後で、子どもたちが記事の執筆などを体
	験し、発表した後、記者が講評する形としている。授業を通じて、記事の書き方、
	文章のまとめ方、見出しのつけ方などを学ぶことができるほか、地域の大人へのイ
	ンタビューを通じて職業観を育てることにもつながる。



2011年9月、横浜市内の小学校で行った「ことばの授業」で、新聞に関する記者の質問に元気に手を上げる子どもたち。



2011年6月、千葉県内の中学校で行った「ことばの授業」(「インタビューをしよう」)で、地域の大人に、仕事についてインタビューする中学生たち。

【奨励賞(地域密着型キャリア教育部門)】

授業実施 企業・団体名	有限責任あずさ監査法人
プログラム名	あずさ監査法人 CSRキャリア教育プロジェクト
	「ドリカムスクール」
活動の内容(概要)	あずさ監査法人では、2008 年より会計を通じて社会の仕組みや職業観を次世代に
	伝えるキャリア教育プロジェクト「ドリカムスクール」を実施しています。活動開始
	から現在まで、3 つの商業高校で延べ 600 名の生徒を対象に約 120 名のプロジェ
	クトメンバーが関与しました。会計の知識を通じて企業や社会、職業への理解を深め
	るため、企業分析や再建計画の立案、地元企業との商品開発等、楽しく学び、生徒自
	らが考え行動するプログラムを開発し、学校や教育 NPO 法人の協力の下で実施して
	います。講義形式だけではなく、生徒が講師との対話の中で仕事に対する考え方や姿
	勢、社会を知ってもらうことを重視したプログラム作りを行っています。



(説明)

生徒が第1四半期の分析結果のプレゼンをして、チューターからのフィードバックを受けている様子



(説明)

チームごとに第3四半期の分析結果 の発表をスライドを用いて行ってい る場面

【奨励賞(地域密着型キャリア教育部門)】

授業実施 企業•団体名	SB エナジー株式会社
プログラム名	未来×エネルギー プロジェクト
活動の内容(概要)	「未来×エネルギー プロジェクト」は、未来を担う子どもたちが主体的かつ創造的
	にエネルギーを考えるための環境学習プログラムです。ソフトバンクグループで自然
	エネルギー事業を行う SB エナジーが、自社の太陽光発電所設置地域と連携し地元の
	小学校から実施しています。 プログラムは2つのステップに分かれています。 ステッ
	プ1は、児童が主体的にエネルギーを考えるきっかけづくり。 まずは動画教材でエネ
	ルギーへの関心を喚起します。次いで iPad を使って身の回りにあるエネルギーの写
	真を撮るなど、行動しながら学んでいきます。 ステップ 2 はグループワーク。 チーム
	で新しいエネルギーを考え、その取り出し方や活用法についてまとめ、発表します。



(説明)

フィールドワークの様子。 校庭に出て、自らがエネルギー と思うものを、iPad を使って 写真に収めます。



(説明)

動画視聴の様子。

オリジナルキャラクターの登場 する動画を見ながら、エネルギー やブレインストーミングについ て学びます。

【奨励賞(地域密着型キャリア教育部門)】

授業実施 企業・団体名	積水化学工業株式会社室
プログラム名	"住まいと環境"学習プログラム
	積水化学グループでは、「環境」「次世代」「地域コミュニティ」を主な分野とした社会貢献活動を推進している。住宅カンパニーでは、従業員が持つ住まいと環境の知見を授業で役立ててもらう「"住まいと環境"学習プログラム」を2007年度から中学校で実施。積水化学グループの従業員が教員と共同で授業を進める新しい形の授業で、住宅の役割や暮らしにともなう環境負荷について学び、グループディスカッションを通じて家のプランを考えるとともに、住宅の模型を使って環境に配慮した家づくりを体験できる。2011年度は、関東・関西・中部・九州の各地域で、中学校・高校を対象に全15校で実施。スタート以降全国で5,000人を超える中学生が授業に参加。



(説明)

従業員による授業でのアドバ イスのようす



(説明) 発表のようす